

令和6年12月16日

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保 育
事業所名	楽らく保育園
代表者氏名（管理者）	園長 樋口 充代
法人名	医療法人 楽育会
定員（利用人数）	72名（76名）
施設・事業所所在地	〒520-0014 滋賀県大津市柳川2丁目7-1
T E L	(077) 527-9130
F A X	(077) 527-9131
電子メール	rakuraku.biwako@gaea.ocn.ne.jp

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター
評価実施期間	2024.12.9 & 2024.12.11

○ 総合評価

医療法人楽育会の保育園は2019年3月29日に設立され、4月から活動開始、6年目に入った若い保育園です。琵琶湖の西側「大津京ランチ」という大型商業施設のすぐそばにあります。園舎の両側は田んぼに囲まれ、閑静な住宅街の中にあり「楽しく保育園」と名付けられています。

保育理念は、まず、子どもたちの主体性を大切にすることをベースにして「生かされて、生きている事に感謝でき、0歳児から100歳を過ぎても一人ひとりが大切にされ、尊重される社会を目指して、その礎となる乳幼児の保育に取り組んでいきます」と掲げられています。

保育目標

- * 心身ともにたくましい子どもの育成
- * のびのびと自己表現できる子どもの育成
- * 社会と調和し、自立できる子どもの育成
- * 自尊感情を持てる子どもの育成

以上を実現させる取り組みとして

◎子どもが安心できる「育児担当保育」= 食事・排せつを中心とした育児行為を特定の大人が特定のこどもに対して継続的に関わることで、子どもの心の安定がはかれます

◎家族的に過ごせる「異年齢保育」= 3.4.5歳児が一緒に居ることで、遊びの広がり生まれ、年齢差を超えたつながりが生まれてきています

◎保育園は「第二の家庭」= 保育者は子どもにとって身近であり、子どもの仲間でありたいという願いから「〇〇さん」と、名前で呼び合っています

若い保育園ながら、保育園が第2の家庭となるよう施設長をトップにして、全職員が笑顔で対応しています。保護者と園の関係を図る一つの道具にアンケート回収率があります。今回の第三者評価調査に関して、保護者の皆さんにアンケートをお願いした結果、96%という素晴らしい回収率が得られたことは、保護者さんのご協力に対し、調査機関としても感謝しているところでありますし、ここまで保護者との関係を深めてきた園側の努力にも敬意を表します。

○ 特に評価の高い点

1, 保護者アンケートの96%という回収率と、高い満足度

第三者評価調査の3本柱の一本に、保護者の評価があります。在籍76名のうち、評価と言えるアンケートに73名が回答され、その評価も満足度が非常に高く、

- ① 給食や食育に関する取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・100%
- ② 自然に触れたり、地域に関わる活動・・・・・・・・・・・・・・・・100%
- ③ 豊かな感性を育む活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・96%

④ 保育中の発熱や体調不良・ケガ等への対応と、保護者への連絡・・・96%

⑤ 話しやすい雰囲気、態度・・・・・・・・・・・・・・・・・・97%

という素晴らしい回答が得られました。評価項目は合計25項目となっていますが、80%以上の満足度を示した項目数は19項目あり、設立6年目で、しかもコロナ禍の影響ある中で保護者の評価は、見事の一言につきましよう。これからの施策としては、保護者の上記に挙げた高い項目について、さらに「第二の家庭」を心に置き、親しみやすさや優しい雰囲気作りで「楽しくたのしく」磨きをかけて前進されることを期待します。

2. 笑顔あふれる「第二の家庭」

朝の笑顔でのお迎えから一日が始まります。子ども達の自主性を尊重して、一日を明るく笑顔で過ごせるように温かく見守る保育士のあふれる笑顔が、良好な就労環境を感じさせます。

各クラスに経験豊富な保育士と、若くて優しさあふれる保育士が配置され、チームワークよく進め、加配の担当者も、児が安心して色々な人との関わりが持てるよう、工夫しつつローテーションを回しています

園の目指す「第二の家庭」に相応しい環境と言えます。

3 給食・食育について

当園では、3大テーマの一つに楽しく頂く食事があります。食事環境づくりでは、幼児組の現状を見せて頂き、当番制で順番に回ってくる作業を、見事に仕上げている園児に聞いてみましたら、当番制について見事に、しっかりと説明してくれて、素晴らしい経験を積んでいることを確認しました。

子どもたちの食べ方も、5才のお誕生日を目処に、お箸をうまく使えるようになった子どもにはお箸を、まだうまく使い切れない子どもにはスプーンを、自分で選択させ、楽しく食べていて、「美味しい？」と尋ねると、笑顔でしっかり答えてくれました。多分家庭に戻ったとき、お昼にいただいた食事のことが話題になることも多いのではないのでしょうか？

「食物アレルギーがあっても出来るだけみんなと同じものが食べられるように」という観点から、3大アレルゲンである卵・牛乳・小麦を使用しないよう、専用ソフトなどを利用しながら、栄養士を中心に献立を考え、できるだけ旬の食材を多く取り入れるよう工夫をしています。

保護者アンケートで100%満足しているとの回答が出ているのも、園が届けている献立表や各種情報だけではなく、子どもの報告も内容も大きく影響しているのでしょうね。

4 眠ること

当園で大切にしていることが3つありますが、すでに「食べること」「子どもの主体性を

尊重して、保育活動で楽しく遊ぶこと」は、ご理解いただけたと思いますが、「眠ること」についても、独特の手法を使っています。

通常であれば、保護者の皆さんにとって一番力が必要となる、金曜日夕方に布団などを持ち帰り、月曜の朝には園に持ち込むことが必要となっていました。ところが当園ではお昼寝時は、コットベットを使用していますので、この労力はかなり軽減されたのではないのでしょうか。しかも床から10cmほど空間ができて、清潔感があり「夏は涼しく冬は暖かく」眠れます。

○ 改善を求められる点

1. 地域との交流、地域貢献について

開園して5年、コロナ禍に見舞われ、多くの制約の中で活動を見合わせていましたが、本年からようやく活動のスタートとなりました。これらの活動を、今後とも力強く押し進めていくことを期待します。特に月1回開催の「らくらくひろば」は、若い子育て世帯の多い新興住宅地の、地域コミュニティの活性化に、園が大きく貢献できるものと確信します。また、滋賀学区まちづくり協議会の「ふれあい文化祭」への参加は、地域の各種団体との交流を深める、大きな第一歩となることでしょう。

第三者評価結果に対する事業者のコメント

コロナ禍の始まりと時を同じくし、開園して5年が経ったいま、当園の現状を知るべく今回この第三者評価を受審することにしました。

この度、第三者評価を受けるにあたり、保護者の皆様にもアンケート調査にご協力を頂き、多くの回答が得られたことを心より感謝申し上げます。

また、私たちの想像をはるかに超える高評価を頂いたことについては、保育者の自信と誇りにも繋がり、明日への活力になったことでしょう。ありがとうございました。私たちが、「丁寧」を合言葉に、「丁寧な保育ってどんなこと？」と、園内研修で保育者同士が話し合い、園全体で、育児担当保育について学びの機会を設け、日々の保育に落とし込みながら、その振り返りを大切に、都度、考え話し合ってきた、その小さな積み重ねが、一人ひとりの子どもに寄り添った安心安全な場となり、子どもたちの「毎日が楽しい！」に繋がってきたと考えます。

保護者の方々とも話しやすい雰囲気づくりに努めておりますが、まだまだ十分でない部分があります。毎日、ドキュメンテーションを配信することにより保育内容を伝えること、そこから生まれる保護者と保育者間での対話をもっと大切にしながら、いただいた結果を真摯に受け止め、日々の保育に邁進していく所存です。

今年度から始まった子育てひろばや、地域高齢者施設との繋がりを深めながら、今後も地域に根差した保育園のあり方を考えていきたいと思っております。